あの感動をもう一度

同志社アトム 同志社水泳部 インカレで集大成見せつけろ

〒602-8580　京都市上京区新町上立売西入ル西大路町 61-1
TEL075-251-3185　©同志社大学体育会機関紙
Doshisha Sports アトム
令和6年（2024）〈号外〉同志社水泳部　闘紫
09/05 木曜日　発行人　渡邉凌太郎
http://doshisha-atom.net/　編集人　浅川明日香

左上・拳を突き上げ喜ぶリレーメンバー
右上・自由形を泳ぐ梶本（スポ3）
右下・平泳ぎを泳ぐ橋本響（政策4）

◆水泳部◆9月5～8日◆第100回日本学生選手権水泳競技大会◆競泳競技◆於・東京アクアティクスセンター◆待ちに待った戦いが始まる。昨年は女子がシード権を獲得し、創部史上初の偉業を達成。8月に行われた関西大会では、個人種目で9つのメダルを獲得、リレーでは5種目で2位を収めるなど輝かしい成績を残した。その後は個々の課題と真摯（しんし）に向き合い、より一層たくましくなった姿で今大会に臨む。1年間の集大成を存分に発揮し、同志社の底力を全国に見せつけろ。

快挙果たす

昨年のインカレでは女子が悲願のシード権獲得という快挙を達成。同志社の武器であるリレーを得点源に個人種目でも好成績を収め、全員でシード権をつかみ取った。「来年のインカレではさらに良い結果で締めくくれるように」（渡会・スポ4）と再出発を誓ってから1年。たゆまぬ努力を積み重ねてきた彼らは再びこの舞台で、熱い試合を繰り広げる。

全員で闘う

同志社の強みは、全員で戦い抜くチーム力。特にリレーに対する思いは、どの大学にも負けない。試合開始直前には声を掛け合い、士気を高めている。個人の速さに加え、最後は勝負強さと必ず勝ち切るという強い意志で他大学を圧倒。関西大会ではリレー6種目中5種目で強豪近大に次ぐ2位を収め、堂々の泳ぎを披露した。

個人種目でもエース梶本を筆頭に、女子100㍍背泳ぎで関西大会4連覇を達成した渡会、女子100㍍バタフライと女子200㍍バタフライで関西大会2年連続2冠を達成した藤本（スポ2）など個々の活躍も光る。今年は新たに3人のルーキーを迎え、より勝負強くなったチームでインカレに挑む。中でも高嶋（スポ1）は自由形とリレー種目でも大きな貢献を果たしている。初めての関西大会では男子50㍍自由形で銅メダルを獲得。男子4×100㍍フリーリレーではアンカーを託され、最後は拮抗（きっこう）した展開を制すと2番手でゴール。目標でもあった銀メダル獲得に、選手たちからは歓喜のガッツポーズが飛び出した。

情熱燃やせ

チームスローガンである『闘紫』には、同志社カラーの紫とかけて、インカレに向けみんなで鼓舞し合うという意味が込められている。個人の強みを生かしながら、最後は自慢のチーム力で全国の舞台に同志社の名をとどろかす。「チーム一丸となって頑張っていきたい」（橋本響）。闘紫を燃やした熱い戦いが今、幕を開ける。【近藤真子】

レイアウト　浅川　明日香

◆同志社個人種目出場一覧◆

男子 100M 平泳ぎ	橋本響（政策4）	女子 100M 背泳ぎ	白石楓佳（理工4）
	岡元海風（社4）		渡会円香（スポ4）
男子 200M 平泳ぎ	橋本響	女子 200M 背泳ぎ	白石楓佳
	岡元海風		渡会円香
男子 50M 自由形	高嶋悠雅（スポ1）	女子 100M 平泳ぎ	橋本萌夏（スポ4）
男子 100M 自由形	長島京志郎（経3）	女子 200M 平泳ぎ	橋本萌夏
	高嶋悠雅	女子 50M 自由形	井上ひなた（スポ1）
	洲﨑透真（経1）	女子 400M 自由形	梶本一花（スポ3）
男子 200M 自由形	説田啓佑（商4）	女子 800M 自由形	梶本一花
	長島京志郎	女子 100M バタフライ	藤本穏（スポ2）
	洲﨑透真	女子 200M バタフライ	藤本穏
男子 200M バタフライ	田中大雅（経3）		
男子 200M 個人メドレー	田中大雅		

私たちは
同志社水泳部を
応援しています